

J Aみやぎ仙南自己改革工程表（令和5年度～令和7年度）

J Aみやぎ仙南は、これまで「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に取り組んできました。この結果、平成30年から令和元年度に実施した「J Aの自己改革に関する組合員調査」等においては、多くの正組合員から、一定の評価と自己改革への一層の期待、多くの准組合員からは、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただくことができました。令和4年度からは、自己改革実践サイクルの取り組みを開始し、米フレコン出荷の拡大と大型規格農薬の普及拡大によるコスト低減、農業機械化一貫体系による園芸生産面積の拡大、地域の活性化やJA経営基盤強化などを目標に取り組みました。

J Aみやぎ仙南は今後も地域になくてはならないJ Aであり続けるため、持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

自己改革を実践するための具体的な方針 【下線項目はKPI設定】

- 1 訪問活動を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。
- 2 「売上増加・コスト低減」による「所得増大」を実現するため、担い手目線で必要な取り組みについて、目標の設定及び実践具体策の策定・実践に取り組みます。
また、「地域の活性化」にも取り組みます。
 - ・担い手経営体や中核的担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - A. 米フレコン出荷の拡大を通じたコスト低減 ※1
 - I. みやぎ仙南の仙台牛ブランドの確立
 - U. 生産販売マッチングによる園芸作物生産面積の拡大 ※2
 - ※ 訪問活動や生産組織等でいただいたご意見を踏まえ、昨年度の自己改革工程表に記載していた内容から変更となったものです。
 - ※1 「米フレコン出荷の拡大を通じたコスト低減」については幅広く取り組みを行うため、主要用米等の取扱い量から飼料用米を加えた取扱い量として取り組みます。
 - ※2 「農業機械化一貫体系による園芸生産面積の拡大」はより幅広く取り組みを行うために「生産販売マッチングによる園芸作物生産面積の拡大」として取り組みます。
- ・必要とする全ての組合員を対象として、次のことに取り組みます。
 - 大型規格農薬の普及拡大
- ・「地域の活性化」に向けては、次のことに取り組みます。
 - A. 7地区支店協同活動、I. 女性大学、U. 女性部・青年部食農教育活動
- 3 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話や各種組合員組織や生産組織等における意見交換を行います。また、地域に根ざしたJ Aを目指した准組合員モニター制度や准組合員加入時におけるアンケートの仕組みを通じて「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJ A運営を実現します。さらにその組合員の評価を踏まえ、必要な見直しを行います。農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう取り組みます。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて

管内の人口動向は減少傾向にあります。また、農業経営体数は年々減少しており、家族経営体の減少、組織経営体の増加という傾向を示しています。令和4年度末におけるJ Aみやぎ仙南の販売品販売高は昨年度実績79億77百万円に対し2億28百万円増加し、82億5百万円となりました。

こうした情勢のなか、J Aみやぎ仙南として現状のまま事業改革を進めなかった場合の今後5年間の成行きについてシミュレーションを行ったところ、事業利益の減少が懸念される結果となりました。これまで行ってきた自己改革は事業成果への貢献はあったものの、事業利益減少の要因は依然としてJ A全体の収支構造にあり、事業総利益の減少ペースが事業管理費の減少ペースを上回る見通しとなっています。

この状況を改善するため、全ての事業において事業総利益の維持・拡大に向けた取り組みをすすめる必要があります。JAみやぎ仙南では、健全で持続性のある経営を確保するため、経営基盤強化に向け一層の費用削減と収益構造の改善に取り組んでまいります。

重点目標

成果指標・目標値

農業者の所得増大・農業生産の拡大

米フレコン出荷の拡大を通じたコスト低減		令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：担い手経営体や中核的担い手など <small>想定</small> <small>コスト低減効果</small>		目標	目標	目標
令和4年度 実績	フレコン出荷9,456 t <small>強化</small> 30kgあたり122円	フレコン出荷 9,600 t	フレコン出荷 9,800 t	フレコン出荷 10,000 t
みやぎ仙南の仙台牛ブランドの確立		令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：担い手経営体や中核的担い手など <small>想定</small> <small>売上増加効果</small>		目標	目標	目標
令和4年度 実績	仙台牛格付率73% <small>追加</small> 枝肉1kgあたり300円	仙台牛格付率 73%	仙台牛格付率 73%	仙台牛格付率 73%
生産販売マッチングによる園芸作物生産面積の拡大		令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：中核的担い手や多様な担い手など <small>想定</small> <small>売上増加効果</small>		目標	目標	目標
令和4年度 実績	園芸作付面積222ha <small>強化</small> 10aあたり250千円 (主要11品目)	園芸作付面積 240ha	園芸作付面積 245ha	園芸作付面積 250ha
大型規格農薬の普及拡大によるコスト低減（水田除草剤）		令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象者：必要とする全ての組合員 <small>想定</small> <small>コスト低減効果</small>		目標	目標	目標
令和4年度 実績	2,836ha <small>継続</small> 10aあたり100～500円	2,900ha	2,950ha	3,000ha

地域の活性化

農業振興の応援団の拡大		令和5年度	令和6年度	令和7年度
令和4年度 実績		目標	目標	目標
各種イベント参加 延べ 1,860人		2,000人	2,000人	2,000人

経営基盤の確立・強化

事業管理費の圧縮に向けた不稼働資産の流動化		令和5年度	令和6年度	令和7年度
令和4年度 実績		目標	目標	目標
売却・賃貸等による土地・建物の流動化 9件		3件	3件	3件

対話・意思反映

項目	令和4年度 実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正組合員への個別訪問件数 (人数)	3,887 人	10,000 人	10,000 人	10,000 人
准組合員加入時アンケート (回収率)	回収率93.2%	回収率 90%	回収率 90%	回収率 90%
准組合員モニター制度 (意見提出人数)	70人	70人	70人	70人